

令和3年4月2日

市政記者クラブ 様

東 山 総 合 公 園
植物園 石川・眞田
電話 7 8 2 - 2 1 1 1

パラグアイオニバス種子の寄附にかかる感謝状の贈呈式を行います

4月23日(金)の洋風庭園のリニューアルオープンにあわせ、名古屋千種ロータリークラブ様より、アメリカ合衆国のミズーリ植物園から入手した「パラグアイオニバスの種子」をご寄附いただくことになりました。つきましては、感謝状贈呈式を下記のように開催しますので、お知らせします。

記

1 開催日時

令和3年4月8日(木) 14時00分～14時15分

2 開催場所

東山動植物園 植物会館研修室 ※裏面 案内図参照
式終了後に種子を育苗しているビクトリア室へ案内します。

3 出席者

名古屋千種ロータリークラブ会長 大谷恩様
名古屋千種ロータリークラブパラグアイオニバスプロジェクト委員長 萩原喜代子様
名古屋千種ロータリークラブパラグアイオニバスプロジェクト委員 吉田玄様
東山動植物園 植物園長 岡本誠

4 内容 ※裏面 写真参照

パラグアイオニバス種子(50粒)の寄附に対する感謝状の贈呈

<寄附の経緯>

- ・昭和25年(1950)に開催される子ども天国名古屋博覧会の目玉として、また、戦後荒れ果てた日本で子どもたちに美しい花を見せたいという思いから、当園は、ある園芸家の方にオオオニバス(学名: *Victoria amazonica* (Poepp.) J.C. Sowerby)の種子の入手を依頼しました。
- ・ロータリークラブ様を通して、各国主要な植物園に依頼してくださったところ、この依頼に唯一応えてくれたのがアメリカ・ミズーリ植物園で、オオオニバスの仲間のパラグアイオニバス(学名: *Victoria cruziana* Orb.)の種子を入手することができました。
- ・その後、毎年種子を取り栽培をしてきましたが、重要文化財温室前館の修理工事などで栽培を中断しておりました。
- ・今春の工事完了にあわせ再び栽培を始めるべく、平成26年(2014)から名古屋千種ロータリークラブ様に種子の入手の橋渡しを依頼してきました。前出の物語を再現し当時の人々の想いを繋げて行くという趣旨に賛同いただき、このほど、名古屋千種ロータリークラブ様より、ミズーリ植物園から入手したパラグアイオニバスの種子をご寄附いただくこととなりました。

【参 考】

■パラグアイオニバスについて

パラグアイオニバス *Victoria cruziana* Orb. (スイレン科 オオオニバス属)

原産地:アルゼンチン、パラグアイ、ブラジル

特 徴:1年草。直径が1m以上になる「円形の大きな葉」。水生植物では、世界最大級の葉となります。葉の裏側にある強固な葉脈に支えられ、葉の裏側や茎には、魚などから身を守るための鋭いトゲが無数に生えています。葉縁は高さ 15～20 cmに立ち上がり、立ち上がった葉縁の外側は緑色です。

花は夜咲きで、1つの花は2日間咲きます。1日目の夜は、白色の花を咲かせ、甘い香りを漂わせます。2日目の夜に再び開花する時は花色がピンク色に変わります。

運が良ければ、朝でも花を見ることができます。

栽 培:増殖は種子によります。成熟した種子を25～30℃の水温に保ち発芽させます。

【案内図】



【参考写真】

ご寄附いただいたパラグアイオニバス
種子の発芽の様子（3月10日撮影）



成長後の予想の姿

